

ケガしない、ケガさせない!!

「誰も危害を受けない、
遭わせない」

B213.130625

初めてやってみる

Ver.1A 作成 2012.11.02

簡易リスクアセスメント

片山安心コンサルタント

作業現場の危険源を無くす、又は危険の低減を
目的にする

簡易作業リスクアセスメント

間接的に
リスク評価を
行う

	手順	時間配分 [分]	
①	現場を見て気づいた事を付箋に書き出す	(8)	
②	付箋を並べ、記入内容がイメージできるか確認する	1	
③	同じ内容のものを集め(グルーピング)、A3用紙に横へ並べて貼り直す	2	
④	「何が危険か」思う事を書き出す それは誰が危害を受けるのか	6	危険の特定
⑤	気づいた事が起きる元の理由を調べる	8	
⑥	危険の対策を、理由を踏まえて考える	10	評価・対策
⑦	「すぐやるべき」と「すぐできる」もの、「順次やるもの」の3種類に分ける	2	リスク評価を対策の順位で表す。
⑧	「いつ準備して、いつまでに、誰がする」の順で決め実行する (「月末まで」とかはNG)	2	

回を重ねて、徐々に危ないところを減らしましょう。

① 現場で気づいた事を付箋に書き出す

① 3人から5人で1グループになります。

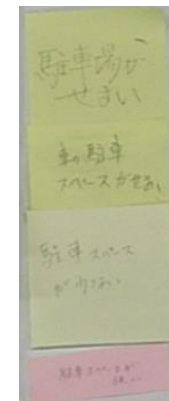
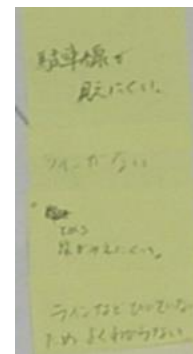
20件以上出す、1人3件以上出す、などと下限を設定しても良い。

② 付箋(ポストイット)に1枚に1件ずつ書き出す。

② 付箋を並べ、記入内容がイメージできるか確認する

① 付箋に書いてあることをグループで読み合わせ、状況をイメージできるように説明を追記する。

はしごから落ちる



③ 同じ内容のものを集め(グルーピング)、 A3用紙に横へ並べて貼り直す

- ① A3の上に「気づき」「危ない」「その対策」項目を書き、付箋を上から下に内容順に貼り付けていく。

グルーピングしたものは右に貼り足していく。全く同じなら上から重ねて貼る。

気づき	危ない	その対策	いつまで 続け
コンセントが 床に置いてある。			
暗い			
落ちそう			
床に物が落ちて 床のベロ			
手が出る			

④ 「何が危険か」思う事を書き出す

各項目の詳細内容を書き足し、誰がどんな危害を受けるのか書く。

⑤ 気づいた事が起きる元の理由を調べ、 どんなケガをするのか書き足す。

気づき	危険	その対策
コンセントが 床に置いてある。	水で床を洗う時、水が掛かり漏電し、 感電する。 テーブルタップに	
暗い	足元が暗いので、箱が有り、明りが 入らないので暗く、足元が定かでない。	
落ちそう	ポリタンクに水を入れ、それを持てハコまで 登る時、濡れて落ちそう。	
床に物が置かれ 床のペーパー	床のコンクリートが割れ、台車を押して通ると 車輪が取られ、物が前にずれ、落ちそうになる。	
滑る	斜面を水洗いして、滑り転倒する。	

この項目の例では、

- ・どうして箱が置かれるのか？ その訳も書く。
- ・足元が定かでない、どうゆうふうケガをするかを書き足す。

⑥ 危険の対策を、理由を踏まえて考える

- ① 理由がわかると、やらなくていい事を続けていた、簡単な方法があった、本当は安全を考えて面倒だけどやらないとダメなど見えてくる。

⑦ 「すぐやるべき ○」と「すぐできる □」もの、「順次やるもの △」の3種類に分ける

気づき	危険	その対策
安全でない=危険→ 直ぐ対策すべき項目	○ 水で床を流す時、水が掛かり漏電し、感電する。 テابلラップに	テابلラップを外してしまう所を止め、収納可能な卓上電源を使用して使用後に片付ける。
危害の程度と関係なく 直ぐ対策できる項目	□ 足ふさいでいる箱があり、明りが入らないので暗く、足もとが定かでない。	箱を置く場所を決め、定位置のランプを引く。高さの目安のラインを壁に付ける。
許容できる部分もある=強い危険を感じない→ 順次対策する項目	○ ポリカクリに水を入れ、それを持てはごま登る時、滑って落ちそう。	リフトでポリカクリを上げておき、登ってからポリカクリを取って作業。
	△ 床のコンクリートが割れ、台車を押して通ると車輪が取られ、物が前にぶれ、落ちそう。	コンクリートを補修する。
	□ 斜面を水流いでいて、滑り転倒する。	滑らない安全靴の使用と保護ヘルメットを着用する。 作業時の保護具は早急に確認。

危険の大きさ

許容不可領域

許容領域
又は
不安定領域

安定領域

受け入れ可能なリスク

無視できるリスク

危害の大きさと実施判別は一致しなくて良い

注意: 対策に主眼を置いており、リスクレベルは大雑把です

⑧ 「いつ準備して、いつまでに、誰がする」の順で決めて実行する

- ① 「緊急度」と「必要度」で期限を決める。それから誰がやるか、期限までに実際やれるか(準備の時間も具体的に)妥当性を考え、決めていく。
- ② 用紙の空白に、日時・場所と参加者の署名をしておく。

気づき	危険	その対策	いつまでに 誰が
コンセントが 床に置いてある。	○ 木で床と流す時、水が掛かり漏電し、感電する。 テーブルタップに	テーブルタップを外して(もう所を 決め、脱着可能な早急で撤去 して使用後すぐ片付ける)に 注意 11月20日	
暗うい	□ 足ふさいでいる箱があり、明りが 入らないので暗らく、足もとが定かたず。	箱を置く場所と決め、青い テープで固定する。足置の と置く。高さの目安は壁に付ける。 11月10日	
落ちそう	○ ポリタンクに水を入れそれを持てハンコを 登る時、滑って落ちそう。	リフトでポリタンクを上げて 持ち上げる作業は 10月20日 注意	山田、金丸、林
床に物が置かれ 床のへこみ	△ 床のコンクリートが割れ、台車を押して通ると 車輪が取られ倒れが前にブレ落ちそう。	コンクリートと交換する。 注意 11月10日 注意	
滑る	□ 斜面を未洗いしていた、滑り転倒する。	滑らない安全靴の使用と保護ヘル メットを着用する。 注意 11月10日 作業時の保護具を正しく着用する。 10月20日 注意	

危険がなくなればよいので、リスク評価をキッチリしなくても重大そうなものから順次対策すれば良い。経営資源集中

死亡や入院・治療に3週以上かかれば重大なものと判断する。(この基準も自分達で決めて良い)

d2.10.28
RA 9:25 ~ 12:00
畠、山田、金丸、林
オコ工場にて。